

**岡山大学歯学部でコーチングに関する授業を受け、
授業前後に実施したアンケートに回答した 1 年次生へ
— 「歯学部1年次生を対象にコーチングを扱った授業の教育効果の検討」 へ
ご協力をお願い—**

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信

研究責任者：岡山大学 学術研究院医歯薬学域 医療教育センター 歯学教育部門 園井 教裕

1) 研究の背景および目的

医療・介護現場では、相手の目標達成を支援するコミュニケーションとしてのコーチングが、患者教育やスタッフ教育など多様な場で活用されています。コーチングは、対話を通じて行動の選択肢や見通しを整理し、自己効力感などを高めることを通して、主体的な行動変容を支える一つのツールと位置づけられています。学会等の研修でも扱われており、卒前教育においても早期からのコミュニケーション教育の一要素として導入する意義が示唆されています。

本学歯学部では、歯科医療概論の一部として歯学部 1 年次生（学士入学生を含む）に対しコーチングを扱った授業を 2023 年度から実施しています。本授業では、授業実践の省察を目的とした無記名アンケートを実施しています。本研究は、2025 年度に授業前後で回収済みの無記名アンケート（既存情報）を利用し、授業実践の省察および教育効果の把握に資する知見を得ることを目的とします。

2) 研究対象者

2025 年度に岡山大学歯学部でコーチングに関する授業を受け、アンケートに回答した 1 年次生（学士入学生を含む）54 名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2030 年 3 月 31 日

情報の利用開始予定日：

当院で情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：2026 年 4 月 1 日

4) 研究方法

2025 年度において、岡山大学歯学部でコーチングに関する授業を受けた 1 年次生（学士入学生を含む）に対して授業前後に Google フォームで実施した無記名のアンケート結果を分析します。アンケートの集計および授業後の省察に関する自由記述等の内容分析を行い、コーチングを扱った授業の教育効果を検討します。アンケートは 2025 年度に実施したコーチングに関する授業の省察を目的として実施されたもので、研究目的で追加調査は行いません。

5) 使用する情報

2025 年度に岡山大学歯学部でコーチングに関する授業を受けた 1 年次生（学士入学生を含む）に対して授業前後に実施した無記名のアンケート結果を使用します。尚、授業の省察を目的とした無記名のアンケートは毎年実施しております。

6) 情報の保存

この研究で収集した情報は、研究の中止又は研究終了後 5 年が経過した日までの間施錠可能な場所（医療教育センター）で保管します。この研究で収集した情報を電子的に保管する場合は、全てのファイルにパスワードを設定し、不正ソフトウェア対策ならびに外部からの不正アクセス防止について適切な対策を講じます。

7) 二次利用

この研究で得られた情報は、将来、毎年実施しているコーチングを扱った授業の有効性について、長期的に測定することを目的とした研究のために用いる可能性があります。将来、新たな研究が計画され、今回の研究で得られた情報を研究に用いる場合には、改めて研究計画書を倫理審査委員会に提出し、承認を受けます。承認された場合、ホームページでの研究の公開（<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/ethics/koukai/>）を行います。

8) 研究資金と利益相反

この研究は特段の費用を要しないため特定の研究資金は用いません。

この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

9) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は匿名で回答いただいたアンケートの結果を用いるため、あなたを直ちに特定できるデータはありません。研究結果は学会や論文で発表しますが、ご了解ください。ご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学 学術研究院医歯薬学域 医療教育センター 歯学教育部門

氏名：園井 教裕

電話：086-235-6596（平日：9時～17時、月曜日を除く）